

会報

第52号

CONTENTS

- | | |
|----------------|---------------------|
| 2 会長挨拶
学長挨拶 | |
| 3 理事長挨拶 | 10 支部だより |
| 4 ホームカミングデー | 12 総会報告 |
| 6 ボランティア | 13 文化講座 |
| 7 学生支援事業 | 14 同窓会より(熊本地震のお見舞い) |
| 9 旭日中綬章(理事長) | 15 大学からのお知らせ |
| | 16 受章祝賀会・生涯教育講座のご案内 |



ノートルダム清心女子大学同窓会 会長 **横溝洋子**



この度、春の叙勲で渡辺和子理事長様が、旭日中綬章を受章されました。おめでとうございます。同窓会としまして、この九月三日(土)に理事長様を囲んで祝賀会をさせていただきます。皆様と一緒に、理事長様をお祝いして素敵な時間を過ごしましょう。ぜひ、ご参加ください。本年五月の代議員総会における役員の改選にあたりまして、引き続き会長のお役目をいただきました。身に余る大役でございますが、再任の運びとなりましたことは、役員、代議員をはじめ

めとする多くの同窓生の方々のご協力のもとより、学長様、理事長様、諸先生方のご助言、ご指導のおかげと心より感謝いたしております。ありがとうございます。これからも重責を果たすべく今まで以上に努力してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、今回は同窓会本部の内容を少し紹介させて頂きたいと思えます。同窓会本部には、広報部会、ホームカミング部会、ボランティア部会、奨学金事業部、学生支援講座の五つの部門がございます。

「広報部会」は、毎年六月にこの会報の発行をしております。「ホームカミング部会」は学生、卒業生、そして一般の方を対象とする生涯教育講座と卒業生対象の同窓生の集い

を開催しております。昨年五月の生涯教育講座では、現在がんと闘いながら多方面にご活躍の学校法人ザベリオ学園学園長守屋博子さん(大学十一期英文学科)にご講演をお願いし、十月の同窓生の集いでは、渡辺和子理事長様の八十八歳の米寿のお祝いをさせて頂き、多くの皆様と有意義なひとときを過ごさせて頂きました。

「ボランティア部会」の、フリージアの会は、同窓会館で手作り品を製作し、ホームカミングデーや奨学生支援バザーで販売しております。また点字絵本の作製をするゆめ文庫と、岡山市の旭川荘などで定期的にボランティア活動を行なっているエンジェル会があります。

「奨学金事業部」は、平成二十七年、在校生の中の五名に奨学金を給付致しました。

最後に「学生支援講座」として、公務員、教員採用試験対策学内講座、パソコン資格取得講座、ステップアップセミナーを開催しています。昨年からは新たに秘書検定講座も開講し、幸いに高い合格率をおさめることができ、学生にとり就職支援の一端を担うことができていると思っております。

このように皆様のご協力のもと活動しております。これからの同窓会は、多くの皆様方に利用して頂けるような、より幅広く深いものでありたいと考えております。ノートルダム清心女子大学を母校とする誇りを再認識し、皆様からのご意見をお聞かせ頂きながら、これからも堅実な歩み続ける所存でございますので、どうかよろしくお願ひ申し上げます。

大学におけるキャリア教育とは

ーリベラル・アーツの立場からー

ノートルダム清心女子大学 学長 **高木孝子**



同窓生の皆様、その後お変わりございませんでしょうか。

ノートルダム清心女子大学は、六十五年にわたる女子教育の中で、キリスト教精神を基盤としたリベラル・アーツ・カ

レッジとして、広い教養と豊かな人間性の上に立って、自ら考え、判断し、その判断に責任をもつことのできる自立した女性の育成をめざしてきました。

本学では、ここ二年間、卒業生の就職決定率(実就職率)が九十五%を超える高い水準を保っています。また、管理栄養士の合格率も二〇一四年度で一〇〇%(合格者七十五名)、教職・保育職の二〇一四年度の採用実績も、既卒者を含めて小学校・特別支援学校教員五十七名、中学校教諭二十七名、高等学校教諭五名、幼稚園教諭・保育士は四十三名となり、この面でも高い実績を示

しています。私は、このような就職実績の高さは、本学のリベラル・アーツ教育の成果として、その延長上に生み出されたものであると考えています。

本学が、一人ひとりの卒業生に伝えたいのは、それぞれの専門知識や免許・資格を活かすとともに、一人の女性として「いかに生き、人に貢献するか」ということです。学生一人ひとりが、客観的な深い洞察力をもって、実利主義の価値観では力を発揮できないと思っ

いのです。そのためには、高いコミュニケーション能力と、周囲の人々と協調し、時には自身が裏方にまわって支え、チーム全体が輝けるように振る舞うこともできるような、コラボレートする力が必要です。本学がキリスト教精神に基づく教育理念として掲げる「真・善・美」の追求とは、人びとのかかわりの中で、一人ひとりが周囲の他者の中にある真なるもの、善なるもの、美なるものをみだし、ともにそれを育て上げていくことにはなりません。本学では二〇〇九年度から文部科学

省学生支援GP「こころをつなぐ学生支援」社会の要請に応える就職支援を中心に」に取り組み、また二〇一三年度からは「保育職・教職のための産官学連携によるCCPM力(コミュニケーション力、コーディネート力、プレゼンテーション力、マネジメント力)の育成」というGPに取り組みました。これらの

取り組みを全学的な活動として展開する過程で、教職員の間に、本学の教育理念を通じたキャリア教育のあり方に関する一定の共通理解が得られたと思えます。それは、現在の本学のキャリア教育システムの中に活かされました。最近整備された自立力育成科目群は、現代社会に対する広い視野を養う科目、

キャリア形成に関する基礎的な視角を培う科目、そしてボランティア活動を含む小規模ゼミや課題解決型の授業など、論理的な思考力と能動的な問題解決能力、そして他者に寄り添うことの意味を見極めようとする科目構成となっ

なキャリア教育であると考えています。本学のこのような教育が十分に学生に伝わり、より高い職業観と能力をもつ人材の育成を可能にすることを願っています。同窓生の皆様にも、本学のこのようなリベラル・アーツ教育に良きご理解を賜りますようお願い申し上げます。

周辺にあるカルカッタ

ノートルダム清心学園 理事長 **渡辺和子**



今から三十年も前のこと、私はラジオから流れて来た一つの言葉に釘付けになりました。それは一人の日本人医師で、最近までインドのカルカッタ(今はコルカタ)で、マザーテレサという一人の言葉だったのです。

「マザーのところには、見るべき医療はなかったけれども、真の看護がありました。」その医師は、続けて言いました。「看護の看という字が、手と目の二つの言葉で成り立っていることを、自分、シスター達の働きの中で、しっかり知りました。」生まれた時から親に捨てられ、大きくなって、人々からは汚い、くさい、いるだけで迷惑だと言われ続けて来たまっずしい人たちが、

マザーの「死を待つ人の家」に連れてこられて、そこで生まれて初めて一人の人間として扱われ、そして死ぬまで看取ってもらっていたのです。

マザーの、このような働きが世界に認められ、マザーは一九七九年にノーベル平和賞をお受けになりました。

そしてその数年後、日本を訪問し、一九八四年には岡山にいらして、カトリック教会と、私たちの大学でお話しして下さったのです。マザーのお姿そのものが、その生きざま、貧しい人、困っている人たちのためにすべてを捧げるお姿として、聞く人々、接する人々の心を打ちました。

大学でお話し下さった後のことです。数人の学生が、私のところへ来て、「私たちは感動した。ぜひ、マザーのところへ奉仕したい。奉仕団を作ってもよいかわってほしい」と申しました。私は嬉しかったので、その旨、マザーにお話ししたところ、マザーも大そうお喜びになりましたが、こうおっしゃったのです。「そのために航空運賃を払って、カル

カタまで来なくてもいい。むしろ私の願いは、一人ひとりが、自分の周辺にあるカルカッタで働いてくれることなのです。」このお言葉を伝えた時、学生たちも納得して、奉仕団は作りませんでした。

このエピソードから三年程後のことです。一人の卒業生から手紙が来ました。卒業後、岡山のある商業学校で教えていて、自分は今年初めて卒業生を送り出したという書き出しで、卒業生となった一女生徒が校門を一度出てから戻ってきて言ったそうです。「先生だけは、私を見捨てないでくれた。ありがとうございました。」そしてまた校門から出て行ったという話でした。この女生生徒は家庭的にも学業的にも問題があつて、教師たちのお荷物であり、教師はクラスでも目を合わせないようにしていた由です。

ところが、ノートルダム大学のAさんだけは、いつも自分と目を合わせ、「よく来たね。座っているだけでいいのよ」というメッセージをほほえみで伝えていたというのです。私は嬉しかったです。Aさんはかつて

奉仕団を望んだ一人でしたが、立派にマザーとの約束を果たして、自分の周辺にあるカルカッタで卒業後働いたのです。「ほほえみって、力があるのですね」Aさんのしみじみした述懐が今も耳に残っています。

「もし、あなたが誰かに期待したほほえみが得られなかったら、あなたの方からほほえんでごらん下さい。実際、ほほえみを忘れた人ほど、あなたからのそれを必要としている人はいないのだから。」人格論の中でも一緒に考えたことでした。自分が期待したほほえみが相手からもらえなかった時、私のほほえみは、その時こそ無駄になったのではなく、神さまのポケットの中に入るので、そして神さまに申し上げましょう。「世界中のカルカッタでお使いくださいね」

私たちが自分では行けないカルカッタで、きつと神さまは喜んで使ってくださいます。そして、私たちも自分のまわりにいる老人、病人、家族の方々へのほほえみ、笑顔と優しさ、許しを忘れないようにしてまいります。

ホームカミング(同窓生の集い)

平成二十七年十月二十五日、大学のカリタスラウンジにおいて平成二十七年ホームカミングデー「同窓生の集い」を開催いたしました。来賓として学長様、理事長様をはじめ諸先生方をお招きし、同窓生を含め二八八名が一堂に会し華やかな会となりました。

今回は、理事長様の米寿をお祝いしたいと参加を希望される方が大変多く、会場の関係から定員を設定せざるを得なかったことは残念でした。ご希望に添うことのできなかった皆様には改めてお詫び申し上げます。理事長様には記念のご講話(三十分)をお願いいたしました。同窓生からはお祝いと感謝の思いをそれぞれにメッセージカードに記し、一冊のアルバムにしてお贈りしました。

会場には理事長様や、卒業五十年を迎えられた十三期の皆様の懐かしい写真の掲示もあり、賑やかな歓声が響きました。十三期の皆様にはお祝いに理事長様のサイン入りご著書をプレゼントし、学長様、理事長様を囲んでの記念写真を撮影しました。また「傘寿」として六期のミニ同期会も開かれ、お話もはずんでいました。グリーンクラブのミニコンサートでは、理事長様への「祝歌」も披露され大いに盛り上がりました。

全員で大学歌を合唱する声に包まれ閉会となりましたが、その後も去りがたく思われた方は、ジュリーラウンジに移動して「お喋り」を続けて楽しい一日を過ごされました。



「祝歌」を披露するグリーンクラブ



バラ・藤・菊・松のクラスフラワーを添えたメッセージカードとお祝いの品(天使)



*強く生きよう、と優しく語りかけられる理事長様

十三期生の集い

ホームカミングデーには七十名近くが集いました。母校を訪れるのは卒業以来初めてという人、五十年振りに会う友の顔もありました。懐かしい母校でこのように再会できるのは何と嬉しい恵まれた日だったでしょうか。

私達十三期生は卒業五十年にあたり、皆様に祝って頂きました。本当に有難うございました。美しいバラのコサージュを胸につけて皆の顔が晴れやかに若返っておりました。

米寿をお迎えになられた理事長様のご本のプレゼント、学生時代の懐かしい写真の数々、また記念写真の用意も大人数で、同窓会の方々にはいろいろとご準備ご配慮下さり、心より感謝申し上げます。バラのクラスの皆様、母校でまたお会いしましょう！
(英文学科 谷村和子)



上段 国文・家政学科 下段 英文学科

生涯教育

平成二十七年五月三十日(土)代議員総会の日にあわせて生涯教育講座を開催しました。講師の学校法人ザペリオ学園学園長守屋博子先生に「生かされて、生きる喜び」二十年前から痛ととも「生きる」と題してご講演を頂きました。

約二十年前に乳癌が見つかり「あと十年」と宣告されたことを明かされました。守屋先生は本大学英文学科の十一期生でもあり、入院中に恩師である本学理事長の渡辺和子先生に胸の内を打ち明けたところ「私はこの世でこんなことをしました」という。神様への履歴書。をこれ以上書けないということまで人に尽くしなさい」と手紙をもらったそうです。それからというもの、これまでを反省し、今後どういう生き方をするか考えて生活を一変させ、現在も治療を続けながら学園長として子ども達の成長を見守っておられます。

与えられた命を精一杯生きていこうとする姿勢に皆が感動しました。今回は一般の方々の参加が多数あり二百名近い聴講者でした。今後も生涯教育講座の開催を定着させていきたいと思っています。



人生は常に青春、の心で

講演の要旨

※紙面の都合上、割愛させていただいた部分があります(ご了承ください)。

五十五才の時、ガンの告知を受け、長くてもあと十年だと言われました。大変ショックでしたが、今までの人生を振り返って後悔もし、色々考え続けました。十年あるということ「一つの生きるプランを立て、どういう生き方をすべきか」という時間を頂いたのだと思うようになり、気がついたら二十年経っていました。

生かされているということを感じる時というのは、「死」というものを宣告された時です。その頃、夫は海外に単身赴任中、長男は就職したばかり、次男は大学浪人が決まり、あと二十年は生きたいと思いました。この母校で学んだ事は私の心の底にあり、いつも「人のために尽くしなさい」「少しでも余裕があったら困っている人を助けなさい」と言われていました。今、自分のできる事を考えた時、それを伝えていく事だと思っただけです。

六十九才の時に福島に行く決断をしたのですが、八十三年前、カナダからシスターが、十二月〜四月まで雪の降る福島の土地を選び、一人ひとり子どもはかけがえのない存在、神様から愛されていることを教えたいという思いでおいでになりました。最初は、子どもたちを集めるのに一軒一軒、ラウンジを持ってまわられたそうです。

サムエル・ウルマンという方の七十四才の時の詩で「青春」という詩があります。この詩を読んだ時、若者より若い生き方が出来るんだ、と思いました。大学三年で肺結核にかかりました。五ヶ月大学を休みましたが、先生方が、休みの時も一対一の授業をしてくださり、遅れず大学を卒業させていただきました。そして、それをお返しするという思いで、福島のカトリックの学校で仕事をしています。病気になる、決めたことは「まず自立しよう。自分の事は自分で考え、意見をはっきり言える人間になろう。次に、目上の方には敬意を表そう、礼を尽くそう。そして、女性としての自覚を持つとう。国際人としての人を育てる事をしよう」ということです。

命ある限り自分を磨き続けなければならない。その一日一日がチャレンジだと思っています。理事長様もおっしゃっていますが、境遇は変えられないが、生き方は変えられるということだと思っています。また、自分の中で、五つの事を誓っています。

青春

サムエル・ウルマン作

青春とは人生のある期間を言うのではなく、心の様相を言うのだ。優れた想像力、たくましい意志、燃える情熱をさす、青春とは人生の深い泉の清新さを言う。青春とは臆病さを退ける勇氣、安きにつく気持ちを振りすてる冒険心を意味する時には20歳の若者より、60歳の人に青春がある。年を重ねただけでは人は老いない。理想を失うとき初めて老いる。歳月は皮膚のしわが増すが、情熱を失うとき心はしぼむ。60歳であろうと16歳であろうと人の胸には、驚異にひかれる心、幼子のような未知への探求心、人生への興味の歓喜がある人から神から美・希望・喜び・力の靈感を受ける限りあなたは若い人は信念と共に若く、疑惑と共に老いる人は自信と共に若く、恐怖と共に老いる希望のある限り若く、失望と共に老い、朽ちる



これでいいかしら？きれいになった？

平成二十七年十一月二十五日、同窓会としては初めての試みでしたが、学生に向けてのアンケート調査で最も人気があった「メイクアップセミナー」を開催いたしました。

参加した学生の多くは、メイクが初体験で、女性ならではの美しさを学び、習得できるチャンスとなりました。

参加した学生たちは、大変充実した時間を過ごすことができました。セミナーが終了する頃には、学生たちはセミナー前後では雰囲気が変わっており、キラキラ輝いていました。

今回の試みが、次回の「ステップアップセミナー」に繋がっていただけると願っております。

ステップアップセミナー



バザーに向けて和やかに製作中

フリージアの会は奨学生支援バザーのために手作り品を製作し、販売をするボランティアグループです。バザーの収益金は全額、奨学金となります。

月に二回、ルルド館に集まって活動し、ホームカミングデーと大学祭で販売をいたします。「明るく楽しく」をモットーに、実用品を中心に数多くの作品を作っております。心を込めて作り上げた作品が売れた時の喜びはひとしおです。

後輩の奨学生を支援したいという気持ちをお持ちの同窓生の皆様、いっしょに製作活動してみませんか。一度ルルド館へ見学にお越しください。また奨学生を支援するということでは、製作・販売だけでなく、バザーへも足をお運びいただき、作品をお買い求めいただくことも支援ができます。バザーの会場でも、そしてルルド館で、お待ちしております。

フリージアの会

ゆめ文庫

ゆめ文庫を利用してくださる方も、少しずつ増えてきています。今回は、三人の子さんをお持ちの利用者の方からのお手紙をご紹介します。

「自分が失明する前に読んだ記憶のある絵本もあって、子どもと読みたいと思いました。」

「息子は、この春小学校入学です。小学校にちなんだおすすめ絵本をお願いします。」

「息子は小学校にも慣れ、毎日楽しく学校に行っています。文字も大分スラスラ読めるようになりましたが、まだ絵本の読みかかせを楽しみにしています。」

「お借りしていた『金魚がにげた』、娘と一緒ににげた金魚を楽しみました。娘も息子も時々娘に読みかかせをしてくれて、まだまだ三人で絵本を楽しんでいます。」



わくわくする点訳絵本

ありがたいことです。興味のある方は、活動を見たい方、ゆめ文庫の紹介をよろしく願います。

ゆめ文庫 新刊目録

・ともだちほしいな おおかみくん	さくらともこ
・ヨシュアのクリスマス	ひききよよし
・はじめのいっほ	まつい
・だんご どっこいしょ	大川悦生
・だいじょうぶだよ、ソウさん	ローレンス・ブルギニオン
・どうすればいいのかな？	わたなべしげお
・ふしぎなともだち	サイモン・ジェームズ
・給食番長	よしながこうたく
・ノントンあそびましょ	キヨノサチコ
・ちいさいおうち	バージニア・リー・パートン
・とんとんとめてくださいな	こいでたん
・ここからあいしてる	ジャン・バプティステ・パロニアン
・まんげつによるまでまちなさい	マーガレット・ワイズ・ブラウン
・むしがとぶ	栗林 慧
・かばくん	岸田 裕子
・ブレーメンのおんがくたい	グリム童話
・うさぎのチッチ	ケス・グレイ
・あーんあん	せな けいこ
・どろんこおそうじ	さとう わきこ
・とんでいく	風木 一人
・ルルちゃんのくつつた	せな けいこ
・くまたくんのたんじょうび	わたなべしげお
・ないた あかおに	浜田 廣介
・はるかぜのたいこ	安房 直子
・とらたとおおゆき	なかがわりえこ
・やさいのおしゃべり	泉 なほ
・もしもしてんわ	松谷 みよ子
・おおさむ こさむ	松谷 みよ子
・あかねこくん	エリック・パテュ
・きつねのかみさま	あまん きみこ
・ついてゆこうーにほんざるのくらし	水原 洋城

奨学生支援バザー

平成二十七年年度「奨学生支援バザー」は、ホームカミングデーと大学祭に開催いたしました。

十月二十五日のホームカミングデーでは、フリージアの会の心のこもった手作り品を販売し、多くの同窓生にご購入いただきました。

十一月七日の大学祭協賛バザーでは、全国の同窓生から寄せられた寄贈品や遊休品を加えました。毎回好評のクッキーの販売や喫茶コーナーも大勢の方に楽しんでいただき、盛況のうちに終了いたしました。また、昨年度からのマイショップコーナーは、スタンドグラス、パワージュエリー、苗木、寄贈品の中からのセレクト品の六店舗が出店され、会場が華やかな雰囲気になりました。

一人ひとりの熱い想いと善意を大切に、次年度へつないでいきたいと思っております。皆様のご支援ご協力に感謝いたします。ありがとうございました。



どれにしようかな、素敵なのがいっぱい！

マイショップ出店希望者募集

二十八年度も、大学祭(十一月六日)にマイショップコーナーを企画しております。手作り品を製作しておられる方、ご自身のお店を出してみませんか？関心がある方は、同窓会事務局までお問い合わせください。または、手作り品を製作されているお友達(同窓生に限る)をご紹介ください。

同窓会事務局 TEL(086)253-1849

平成27年度バザー協力者一覧(年度別・敬称略)

このブロックは、平成27年度バザー協力者一覧の表や詳細なリストが掲載されている領域です。表の上部には「平成27年度バザー協力者一覧(年度別・敬称略)」という見出しがあります。表の下部には「同窓会事務局 TEL(086)253-1849」という連絡先情報が記載されています。

エンジェル会

平成十四年、エンジェル会は、「一人ひとりの背中に守護の天使がついてくださる」という話から命名され、会が発足しました。「必要とされるボランティア活動」の願いがかなない、翌年から大学と縁の深い旭川荘で活動を始めました。

夏休みの宿題を一緒にしたり、おやつ作り、紙芝居や絵本の読み聞かせ、お祭りや一日旅行、施設見学や買い物に同伴し、家庭的な雰囲気作りのお手伝いをします。どんな活動も職員の方々がお手伝いをします。散歩の時は、全体を見る職員と、一人に一人の介助者が必要です。

「〇ちゃんごめんね。また今度一緒に行こうね。」の言葉を耳にする時があり、エンジェルさん、多くなれ、と思わず叫びたくなるのです。

スポーツや芸術も一緒に楽しめます。ルルド館で練習したハンドベルは、七夕やクリスマス会で聞いてもらいます。ベルの仲間に入ると、美しい音色を楽しむ方を大歓迎します。

入所している方々とのふれあいを通して元気をいただいています。人生のどこかで、エンジェル会の活動に参加してみませんか。

(十七期 児童学科 二階堂悦子)



旭川荘の子どもまつりにて

◆平成二十七年奨学生指導・報告会◆
 奨学金委員会では、平成二十七年六月十三日と十一月二十一日の二回、平成二十七年奨学生に対し、指導・報告会を行いました。
 奨学金委員会からは奨学生への励ましの言葉やアドバイスがあり、奨学生からは目標や経過報告があり、特に二回目の指導・報告会では学生たちに著しい成長が見られました。

◆新年度奨学生を決定◆
 平成二十七年十二月五日(土)の奨学生選考会で、厳正な審査のもと、五名の平成二十八年奨学生を決定しました。

平成28年度 ノートルダム清心女子大学同窓会 奨学生



平成28年度奨学生証書授与式にて

- 公務員試験対策学内講座35名
- 教員採用試験対策学内講座55名
- パソコン資格取得講座
 Microsoft Office Specialist
 資格対策講座

コース	受講者数
Excel スペシャリスト (一般)	246
Excel エキスパート (上級)	31
Word スペシャリスト (一般)	226
Word エキスパート (上級)	27
Power Point	36
Outlook	10
合計	576

● 秘書検定講座

平成27年度から新たに「秘書検定講座」を開講し、検定試験の結果2級においては全国平均67.4%の合格率に対し本校は87%、さらに難関の準一級も89%という高い合格率に達しました。

● 昨年の合格実績
 2級合格率…87%
 準1級合格率…89%

渡辺理事長様の新刊が出版されました!

本書は、一九三六年二月二十六日の雪の積もった朝、目の前で父が凶弾に倒れるのを見た九歳の少女の半生の物語です。彼女は後に修道者となり、岡山の地で女子教育に全霊を注ぎます。「神は決してあなたの力に余る試験は与えない」どんなに苦しい時でもキリストの言葉を信じて生きてきた、ノートルダム清心学園理事長のシスターが波乱の人生を語られています。



受章おめでとうございます

叙勲〈旭日中綬章〉

渡辺和子 理事長様



― 人格教育に全霊注ぐ ―

「喜んでくれているのか『まだまだだよ』と思っているのか…。どちらでしょうね」。陸軍教育總監の父・錠太郎が凶弾に倒れた二・二六事件から八十年。受章の一報に、大好きだった父の面影をしのびながら少女のような笑顔を見せた。

カトリックの洗礼を受けて修道院に入り、米國留学を経てノートルダム清心女子大の学長に就任したのは三十六歳の時。人格教育に全霊を注ぎ、八十九歳の今も教壇に立つ。学生を名前前で呼び、どんな時もほほ笑みを絶やさない。しかし、物事の折り目は決して崩さない。

「自らの理性と意志で判断し、選択し、実行した結果については自らで責任を負う。それが真の自由人なのです」。仕事の重圧、病の苦しみ、老いの悲しみ…。全てを抱きしめて信仰と教育に身をささげる日々。その実体験を通して語られる言葉には説得力がある。
 (山陽新聞の記事より)

● 理事長様からのメッセージ

この度の叙勲につきまして、多くの卒業生からお祝いのお言葉や金品を頂戴し、ありがとうございます。お一人お一人へのお礼状は控えさせていただきます。頂戴した金品につきましては、天災でお困りの方々のために使わせていただきます。何卒ご了承くださいます。

● 食品栄養学科 創設五十周年の集い



岡山ロイヤルホテルにて

二〇一五年十一月八日に、本学ヨセフホールにおいて「食品栄養学科創設五十周年記念式典」が開催されました。渡辺和子理事長、高木孝子学長、菊永茂司学部長および旧学科教員、現教員、卒業生等約二百人が集い、創設五十周年の節目を祝いました。
 式典は、菊永茂司学部長の開会の辞で始まり、高木孝子学長の挨拶、渡辺和子理事長の講話「思い出すこと」に続き、管理栄養士として活躍する卒業生による対談「あゆみ」これまで、これから」が、行われました。
 卒業生による対談は、病院管理栄養士の坂本八千代先生、福祉施設管理栄養士の菱川明子先生、栄養教諭の有村裕子先生、保健所管理栄養士の春名かをり先生が、本学科に期待することや一層の発展のために求められることなど、様々な観点から本学科の将来について意見が述べられました。
 その後、場所をホテルに移し、祝賀懇親会が盛大に行われました。

支部だより

— 全国9支部から、活動の様子が届きました。 —

●九州支部 (728人)

鹿児島県の役員の方より引き継ぎを受け、はや10ヶ月が過ぎようとしています。佐世保での理事長様の講演後、理事長様を囲んでの夢のような再会も実現し、役員一同心をひとつに同窓会に向けて動き出しました。大学卒業後、それぞれの環境はちがっても、大学で学んだ人格論が心の根底をなしています。7月の支部総会に向けて心をこめて準備をいたしております。どうか、暑い季節ではありますが、活気を取り戻したハウステンボスにおいて、皆様のご参加をお待ちしております。「遠くまで来てよかった同窓会」を目指し頑張りますのでよろしくお願い致します。



— 出合いを大切に —

九州支部長 土井添美穂子

●広島支部 (1,652人)

11月12日(土)JR広島駅に連結しているホテルグランヴィア広島で、第25回広島支部総会・懇親会を行います。今回は38期、39期の8名が担当します。皆近くに住みながら20年近く会っていませんでしたが、これを機会に嬉しい再会をしました。今、力を合わせて少しずつ準備をしています。先日、久しぶりに大学のアルバムを開いてみました。どうぞ皆様もアルバムをご覧ください。懐かしい友の顔でいっぱいです。ご都合がつけば是非とも広島支部同窓会にお越し下さい。



再会よろこび

「おひとり様参加」も大歓迎ですよ！

広島支部長 藤澤陽子

●四国支部 (972人)

27年6月に会報「よつば通信5号」を支部会員にお届けし、12月には63期卒業の新会員に支部規約をお届けしました。現在は、第16支部総会開催の準備を整えているところです。四国支部の方には案内を同封してありますのでご確認下さい。来年度は、香川県に支部が移りますので、前支部長の河原陽子さんが引き継ぎの準備をしてくださっています。4年毎に支部が移動しても、4県が協力し合って支部の運営をしやすい形にする方法を模索しています。



円滑な支部運営に向けて

四国支部長 土岐久美子

●岡山県支部 (15,484人)

昨年6月に、第10回総会・懇親会を開催しました。学長様に「イエスによるゆるしと愛」という演題で、ご講話をしていただきました。

9月には、第18回ノートルダムトロフィー・English Speech Contestに、県内外より18名の高校生の参加があり、パワー溢れる素晴らしいスピーチを聴くことができました。

また、「地域花みずき会」が小田川流域・玉野・岡山東・美作で行われ、会員相互の親睦を深めることができました。来年は県支部発会20周年を迎えます。記念事業を計画しておりますので、皆様お誘い合わせの上、ご参加ください。

岡山県支部長 中山淳子

■平成27年度支部長会報告

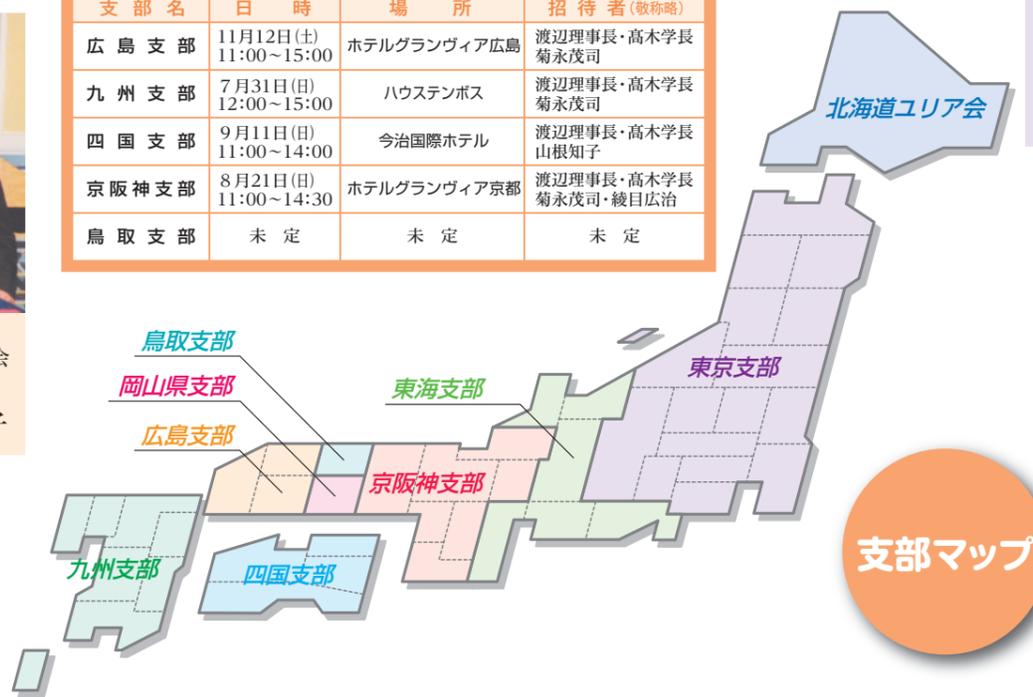
平成28年2月13日(土)ノートルダム清心女子大学中央棟8階会議室において、平成27年度の支部長会を開催しました。全国9支部からお集りいただき、各支部の現状、活動を伺いました。建設的なご意見も数多く有意義な会となりました。今後に反映できればと思います。



本部、支部役員との交流の輪

■平成28年度 支部総会開催予定表

支部名	日時	場所	招待者(敬称略)
広島支部	11月12日(土) 11:00~15:00	ホテルグランヴィア広島	渡辺理事長・高木学長 菊永茂司
九州支部	7月31日(日) 12:00~15:00	ハウステンボス	渡辺理事長・高木学長 菊永茂司
四国支部	9月11日(日) 11:00~14:00	今治国際ホテル	渡辺理事長・高木学長 山根知子
京阪神支部	8月21日(日) 11:00~14:30	ホテルグランヴィア京都	渡辺理事長・高木学長 菊永茂司・綾目広治
鳥取支部	未定	未定	未定



支部マップ

★支部会費納入のお願い★

同窓生は、同窓会会則第2章第7条「会員は、すべていずれかの支部に所属するものとする。」により、必ずいずれかの支部に所属することになっております(※どの支部に所属しているかは、同窓会支部規程をご覧ください)。支部会費の納入をよろしくご願いたします。



熱心にご講話を聴講

●北海道ユリア会 (53人)

今年度は2年に1度の支部総会の年にあたり、昨年9月7日に「総会・懇親会」を開催いたしました。

同9月に渡辺和子理事長様のご講演で札幌にお越しになられました折には、お忙しいなかお時間を割いてくださりまして、理事長様を囲む会を持つことができました。心豊かなひとときを過ごせましたことを感謝いたします。



理事長様と共に

北海道ユリア会 代表 西浦美恵子

●東京支部 (2,095人)

昨年8月29日ホテルグランドパレスにて「第23回東京支部総会・懇親会」を開催いたしました。渡辺和子理事長、高木孝子学長、葛生栄二郎先生、本保恭子先生、本部より横溝会長、横内理事をお迎えし、同窓生189名が集ったとても和やかで楽しい会となりました。

また、東京支部では担当役員の任期が2年であることから、予算&決算も2年単位で行っていましたが、本部のご指導により、他支部と同様に1年度ごとに行うことになり、総会では平成26・27年度活動報告、平成26年度決算・監査報告、平成27年度会計予算を賛成多数で承認いただきました。



葛生先生の乾杯!

東京支部長 木村百々江

●東海支部 (621人)

昨年11月29日、ホテルサンルートプラザ名古屋にて、第16回東海支部総会・懇親会を開催いたしました。当日は渡辺理事長様、高木学長様、本保先生にご臨席賜り、50名程のアウトホームな会となりました。理事長様の講話では、語尾に「の」を付け加えるだけで相手の気持ちを受け入れ、人間関係をスムーズにするという「のの字の哲学」を教えていただき、会場が感動に包まれました。次回開催は29年度です。皆様の参加をお待ちしております。



理事長様、学長様を囲んで

東海支部長 和田拱子

●京阪神支部 (2,270人)

京阪神支部は、今年8月21日(日)にホテルグランヴィア京都において第26回総会・懇親会を開催いたします。今回の役員会は37期、38期が担当し、「絆を大切に」をモットーに役員全員が協力しながら準備を進めております。総会は、渡辺和子理事長様、高木孝子学長様、学長補佐菊永茂司先生、文学部学部長綾目広治先生がご臨席くださる予定です。今夏、京都で同窓生の皆様とお会いできますことを楽しみにしております。



絆を大切に

支部長 村中扶美恵

●鳥取支部 (90人)

今回の鳥取支部総会も新しい会員の方をお迎えして、和気あいあいと楽しい有意義なものとなりました。特に昨年の渡辺和子学園理事長様ご出演のテレビ番組の話題から、懐かしい学生時代の思い出や今昔の学校の様子にまで話が及び、場が大いに盛り上がりました。次回の支部総会は、東、中、西部と3ヶ所に分けての開催も考えています。少し遠方のため、今までなかなか参加できなかった皆様、是非お気軽にご参加下さい。お待ちしております。



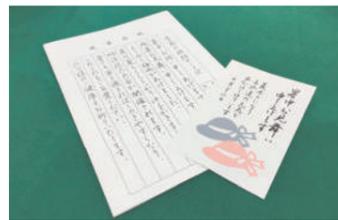
母校の今昔の話題で盛り上がり

鳥取支部長 三輪洋子

※各支部の会員数は平成28年4月30日現在のものです

🍵📖 学びの旅を始めませんか!! 📖🍵

文化講座は、昭和51年「会員の向上をはかり、相互の親睦と援助に努める」という目的で開講された「文化教室」を継承して40年。現在、同窓生と学生を対象に次の講座が開かれています。各講座はそれぞれに、日本の文化を学ぶ貴重な時間となっています。



ペン習字—正座して心静かに書く—開講当初からのスタイルですと先生



文学—「勉強しようね」と昭和55年から続いている購読その後の先生との至福のティータイム

平成28年度 文化講座

講座名	講師	内容	曜日・期間等	受講料(全納)	教材費
文学	ノートルダム清心女子大学名誉教授 赤羽 淑	『源氏物語』を読む。 『百人一首』を読む。	5月～7月、9月～3月 月曜日(月2回)14:00～15:30	26,000円 (1カ月/2,600円)	テキスト代
ペン習字	文部科学省後援硬筆毛筆書写検定 岡山県審査委員 岡山書写教育研究会師範 田中 慎子 (更 愁)	手書き文字を楽しみ書の文化に 触れる。書写検定の公的資格を 取得する。	5月～7月、10月～1月 ①毎週水曜日13:30～14:40 ②毎週水曜日15:00～16:10	18,200円 (1カ月/2,600円)	テキスト代・資料代他 初回 (3,500円～3,800円) 書写検定受験者は 受験料と参考書必要
きもの 着付け	むつみ京都総合学院学院長 吉井 陸 美	ゆかたから留袖まで自分で着られる ようになり、講師の資格も取得 できる。また、和の文化・マナー も身につけることができる。	5月～7月、10月～2月 毎週金曜日 ①10:00～12:00 ②13:30～15:30	24,800円 (1カ月/3,100円)	テキスト代・初回 (4,030円税込)
謡曲・仕舞 (観世流)	日本能楽会会員 京都観世会副会長 職分 林喜右衛門師	能楽の台本である謡を通し、日 本の文化・歴史を知り、仕舞を通 して舞を学ぶ。	火曜日(月2回) 10:00～15:00 (土曜日になることもある)	謡曲のみ(1カ月) 一般3,000円 学生2,000円 謡曲と仕舞(1カ月) 一般6,000円 学生3,000円	謡本 【初心本・5曲入り】 (3,780円) 扇(4,000円)
生け花 (小原流)	一級家元 教授 菊井 優 子	花に触れ、花を活けながら花と たわむれ、自分の中にある感性 を磨いていく。	5月～7月、10月～2月 第2・4木曜日 13:30～15:30	20,000円 (1カ月/2,500円)	花代・1回 (900円)
茶 道 (武者小路千家)	武者小路千家正教授 笹井 浩 子	茶道を学ぶことで、日本の文化 を知る。年に数回の茶会へ参加 する。	5月～3月 毎週火曜日 10:00～15:00	22,000円 (1カ月/2,000円)	水屋料・月額 (500円)
日本舞踊 (正派若柳流)	正派若柳流師範 公益社団法人日本舞踊協会会員 若柳 桃 保	楽しみながら日本舞踊ができる 様、小曲を中心に指導を行う。 また、着付け、礼儀作法も身に つけることができる。	第1・3木曜日 ①13:00～14:30 ②15:00～16:30	26,000円 (1カ月/3,000円)	ゆかた、足袋等の 準備が必要な場合 がある

※文化講座は5月開講、随時受け付けます。申し込み、問い合わせ ノートルダム清心女子大学同窓会
冷暖房費は年間1,080円です。 ☎700-8516 岡山市北区伊福町2-16-9 TEL(086)253-8496



着付け—真剣に帯結びに取り組む受講生
一人で見ると嬉しいね



日本舞踊—京都の四季の風景を踊る「京の四季」
楽しくお稽古しています



謡曲・仕舞—お謡いのあとは仕舞のお稽古
10月には後楽園の能舞台に—

平成二十八年同窓会代議員総会

平成二十八年同窓会代議員総会は、五月二十八日(土)、代議員十五名、委任状出席七十七名の参加で開催され、提出議案はすべて承認されました。

- 評議員として北海道ユリア会、東京支部、東海支部、京阪神支部、岡山県支部、四国支部、広島支部の支部長が参加されました。
- 第一号議案 平成二十七年事業報告及び収支決算承認の件
- 第二号議案 平成二十八年事業計画及び収支予算承認の件
- 第三号議案 次期役員選任承認の件



熱心な審議

監査報告

平成27年4月1日から平成28年3月31日までの平成27年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

- 1 監査の方法の概要
 - (1) 会計監査については、帳簿及び関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。
 - (2) 業務監査については、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。
- 2 監査意見
 - (1) 収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録は会計帳簿の記載金額と一致し、会の収支状況及び財政状態を正しく示していると認める。
 - (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
 - (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは会則に違反する重大な事実はないと認める。

以上
平成28年4月27日

ノートルダム清心女子大学同窓会

監査委員 高橋 小どり
監査委員 横溝 光美
監査委員 田中 恵子

平成二十九年役員名簿

田中 恵子	横溝 宏美	高橋 小どり	柴 英子	難波 成美	森川 千代	横溝 美家	藤原 佳希子	甲斐 美恵	福好 美恵	前田 明美	佐藤 千壽	吉田 満穂	山本 美智子	横溝 洋文	久藤 純子	佐藤 泰子	伊丹 雅子	安井 和子	保井 夕力子	津和 陽子	理事 光詔
-------	-------	--------	------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	-------

(*)印は新役員
◎は会長 ○は副会長

大学からのお知らせ

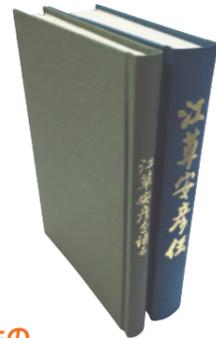


「元気でやれよ」
「くよくよするな」
「立ち止まるな」
「人の為に」

これは故 江草安彦先生の
遺されたメッセージ!

(江草安彦伝のあとがきより)

* 同窓会館で税込1,000円でお渡ししております。



江草安彦伝(右)
江草安彦を語る(左)

ありがとうございました

- 平成27年8月ご退職の先生 文学部教授 高橋 幸子 先生
- 平成28年3月ご退職の先生 文学部教授 藤木 和子 先生
人間生活学部教授 横山 學 先生 人間生活学部教授 吉永 早苗 先生
人間生活学部准教授 梶谷 恵子 先生 人間生活学部准教授 中西 裕美子 先生

大学ホームページ「清心アーカイブズ」

同窓生の皆様には平素から資料情報のご提供をいただきありがとうございます。

大学ホームページ企画「清心アーカイブズ」では、大学の歴史、人物、建物、キーワードを掲載しています。また、大学公式ブログも定期的に更新し、現在の大学の様子を日々お伝えしております。これから卒業生の方への情報提供を徐々に増やしてまいりますので、ぜひご高覧ください。



今後ともご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

* 資料編集室では本学に関する資料を収集・保存しています。本学資料をお持ちの方がいらっしゃいましたら、資料編集室までご連絡くださいますようお願いいたします。

資料編集室 TEL 086-252-3107 FAX 086-252-7035
E-mail: archives@pluto.ndsu.ac.jp
* お電話でのご連絡は月～金 9時～16時半(祝・本学休業日を除く)

入試広報部より

●2016年度 オープンキャンパスのご案内

- 6月 6月19日(日) ■9月 9月25日(日)
- 7月 7月16日(土)・17日(日) ■3月 2017年
- 8月 8月6日(土)・7日(日) 3月19日(日)

* 事前にお申し込みのうえ、ご参加ください。
* オープンキャンパスに参加できない方のためにサタデーキャンパスを開催しています。

○詳しくは、ホームページをご覧ください。

入試広報部 TEL:086-255-5585(直通)
URL: http://www.ndsu.ac.jp/

2016年度 清心フェリーチェ開講講座

特別講演

小説家、精神科医 加賀 乙彦	7月2日(土) 13:30~15:00	私の長編小説「永遠の都」の 創作— 戦争と平和の時代	一般 1,000円 学生 500円	ノートルダム清心女子大学 カリタスホール(定員:470名)
-------------------	------------------------	-------------------------------	----------------------	----------------------------------

* 特別講演は、往復はがきによる事前の申し込みが必要です。
申し込み方法の詳細については、ノートルダム清心女子大学生涯学習センター事務室まで、お問い合わせください。

聖書講座 ～聖書の間人観～

時間: 13:30~15:00
定員: 80名
受講料: 一般 1,500円, 学生 750円

第1回	10月8日(土)	上智大学名誉教授 雨宮 慧	「両親と子供」
第2回	10月22日(土)		「夫と妻」
第3回	10月29日(土)		「家と個人」

* 本年度は、ノートルダム清心女子大学の設立母体であるナミュール・ノートルダム修道女会の創立者、マザー・ジュリー・ピリアートの帰天200周年にあたります。それに伴い、『清心の礎』『清心女子大学の貴重書・古典籍～正宗敦夫の眼～』『岡山の近代建築遺産』『清心女子大学の歴史とミッション』といった、本学に関連した特色ある講座(いずれも無料)が開講(同封の「2016年度清心フェリーチェ募集要項」をご覧ください。)されますので、卒業生の皆様のご参加をお待ちいたしています。

お問い合わせ先▶ 生涯学習センター事務室 〒700-8516 岡山市北区伊福町2丁目16-9 E-mail: opc@post.ndsu.ac.jp
TEL 086-252-7045 FAX 086-252-7044

熊本地震のお見舞い

熊本地震におきまして、被災された皆様にお見舞い申し上げます。被災地の1日も早い復興を願い、皆様が平穏な日々を取り戻されることを、心よりお祈りしております。そこで同窓会では全同窓生の気持ちといたしまして、本部と支部合わせて義援金70万円を、5月9日に山陽新聞社会事業団を通じて寄付させていただきました。

平成28年度 奨学生支援バザー

- 日時・場所・10月23日(日) 9:30~(生涯教育講座)ヨゼフホール
・11月6日(日) 10:00~15:00(大学祭協賛)ヨゼフラウンジ
- 内 容・手作り品他の販売・喫茶コーナー(大学祭当日)
- お 願 い・手作り品、遊休品をご提供ください。
受付期間: 7月1日~10月末日(同窓会事務局まで)
・奨学生支援の寄付金は同封の振込用紙をご利用ください。

フリージアの会の活動

- 日 時 第2火曜日・第4土曜日
10:00~14:30(ご都合のいい時間にどうぞ)
- 場 所 ルルド館 第一会議室

ボランティア募集中!

ゆめ文庫の活動

- 日 時 第2・第4木曜日 10:00~16:00
- 場 所 ルルド館 第二会議室(2F)
- 内 容 ①点訳絵本の作製と貸し出し(一般の方・岡山盲学校小学部の方)
②点訳絵本蔵書目録の作成
③「会報」の点訳(パソコン)

エンジェル会の活動

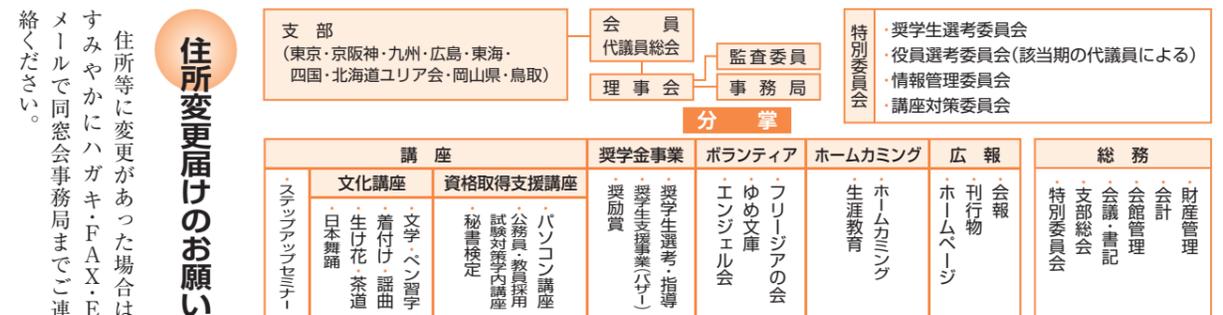
- 旭川荘
・療育園 第3・第4土曜日(10:00~12:00)
・睦学園 第1・第3金曜日(10:30~11:30)
第1火曜日(10:00~11:00)
・児童院 第3・第4火曜日(11:00~13:00)
第4水曜日(10:00~12:00)
- ルルド館
・ハンドベルの練習 第2・第4金曜日(10:00~)

部屋の名称	収容人数	使 用 料			
		(会議・会合等) 4時間以内 平日: 9時~16時 土曜日: 9時~14時30分		宿泊(1泊・1名) 16時~翌9時	
1F 第1会議室	25人	3,000円	4,000円	①	②
第2会議室	14人	1,500円	2,000円		
2F うめ(和室)	7~8人	2,000円	2,500円	1,500円	3,000円
かえで(和室)	7~8人	2,000円	2,500円	1,500円	3,000円
備 考		超過料金 (1時間につき各料金の2割増し)		寝具はリース(実費負担)	

- 使用目的
会合・研修・宿泊
- 使用できる人
① 学生・同窓生・岡山清心女子専門学校・ノートルダム清心女子大学現旧教職員(客員)及びその家族
② 附属校、姉妹校関係者及びその家族
会が承認した者
- 休館日
日曜日・国民の祝日・創立記念日・ブレジデンツデー・クリスマス・夏季休業・冬季休業等

同窓会館利用のしおり

組織図



渡辺和子理事長様 旭日中綬章 受章祝賀会のご案内

このたび春の叙勲で渡辺和子理事長様が旭日中綬章を受章されました。
同窓会主催の祝賀会を下記の日程で開催いたします。ぜひご参加ください。

記

- 日 時：平成28年9月3日(土) 11:00～14:00 [受付 10:00～]
 - 場 所：岡山国際ホテル『瑞光の間』 送迎バスあり(下記記載)
 - 参加費：10,000円(昼食代含む)
 - お祝いの品(花束・記念品・金品等)につきましては、理事長様が固くご辞退されておられますのでご了承ください。
 - 締 切：7月30日(土)振り込み分まで
 - 申し込み方法：会報に同封の振込用紙にてお振り込みください。
(振り込み確認で受付完了となります。チケットの発行はいたしません。)
ご出席の方につきましては、出席者名簿にお名前を掲載いたしますことをご了承ください。
- *JR岡山駅西口よりシャトルバスが出ます(無料) **9:00 / 9:30 / 9:50 / 10:00 / 10:10**
中央改札口より西口に進みエレベーターで1階に降りてください。



ホームカミング 生涯教育講座のご案内

平成28年度の生涯教育講座を開催します。
皆様、お誘いあわせのうえご来場ください。

*一般の方のご参加も歓迎いたします。

- 日 時：平成28年10月23日(日)
10:30～12:00 [受付 9:30～]
- 場 所：ノートルダム清心女子大学 ヨゼフホール
- 内 容：講 演(無料)
講 師：鮫島 純子氏
演 題：『何があってもありがとう』
：フリージアの会による手作り品の販売



鮫島純子氏は、凛として今を生きる94歳のエッセイスト。祖父は日本資本主義の礎を築いた渋沢栄一氏です。

つらく苦しいことにこそ誠実に向き合い、感謝の気持ちを忘れない。その聡明な品性とユーモアあふれるお話はとても魅力的。ぜひ世代を超えてお聞きください。

●この度は生涯教育講座のみの開催となり「同窓生の集い」はありません。

*駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

お問い合わせ

ノートルダム清心女子大学同窓会

ホームページアドレス <http://www.rurudo-dousoukai.club>

〒700-8516 岡山市北区伊福町2-16-9

TEL&FAX (086)253-8496

E-mail: rurudo@theia.ocn.ne.jp

●題字 高木聖鶴

●表紙 イチョウ並木より御聖堂・旧修道院を臨む

ベールにつつまれていた修道院。しばらくの間、学寮として使っていた時もあったが、現在は資料編集室、書道教室と先生方の研究室となっている。イチョウ並木の横の塀も取り去られ、芝生の中庭は慈しみ深いマリア像に見守られた美しい庭園となった。遠くアメリカから来られたシスターと共に、この大学の礎を創られた方々の熱い願いが伝わってくる。

個人情報の取り扱いについて

個人情報保護法施行に伴い、本会では情報管理委員会を設け、会員の皆様の個人情報の適切な取り扱いに努めています。

(情報収集と使用目的)

個人情報の収集は、本会の必要な範囲に限定し、使用目的を明確にする。

同窓会に登録されているデータは、ノートルダム清心女子大学同窓会からの連絡送付

●同窓会・各支部・各支部会の活動支援

●会員確認調査

●会員名簿の作成

●目的範囲内を超えて使用及び提供はしない。

(会員からの申請)

会員は、本人の個人情報の開示・訂正・提供範囲の変更や削除の申請ができる。

編集後記

この度、突然の四月の熊本地震で被災された皆様方には、心よりお見舞い申し上げます。そして、一日も早い復興を同窓生一同お祈りいたしております。

この春の叙勲で渡辺和子理事長様が旭日中綬章を受章されました。まことに喜ばしいことではないでしょうか。

昨年五月の生涯教育講座での守屋博子先生のご講演は感動的で、私達も前向きに生きる力を頂きました。

会報への御意見、御感想などを広報部までお寄せください。なお、ホームページが新しくなっております。(上記)

会報編集委員

十四期・家政	世良 佳子
十五期・国文	実光 詔子
二十一期・国文	伊丹三保子
二十四期・英文	佐藤 泰子
二十四期・児童文	久一 純子
二十九期・英文	前田 明美